

富木島ろ

【第284号】

発行 R6. 10. 1
東海市立富木島小学校
TEL 052-601-5311
ホームページ



富木島小

検索

子どもの可能性は無限大 ～1年生だから不可能と決めつけない！～

ある日の給食の時間、一人のふきしまっ子がパンのおかわりじゃんけんに参加し、見事に勝つことができました。

この子は、じゃんけんに勝ったにもかかわらず、負けた5人とじゃんけんに参加しなくてもパンを欲しがっていた2人のことを思いやり、自ら考え、判断し、決定し、パンを8等分して、みんなで食べるという行動をとりました。



このころ温まるお話は、1年生の教室で起こりました。お話の第1章は、本校が目指す『**自立と共生**』を象徴する出来事となりました。

誰に指示されることもなく、自ら考え、判断し、決定して行動することのできたことは、まさに『自立』であり、自分さえよければいいのではなく、どうしたら『みんなが』幸せになれるのかを考えたことは、まさに『共生』であると言えます。

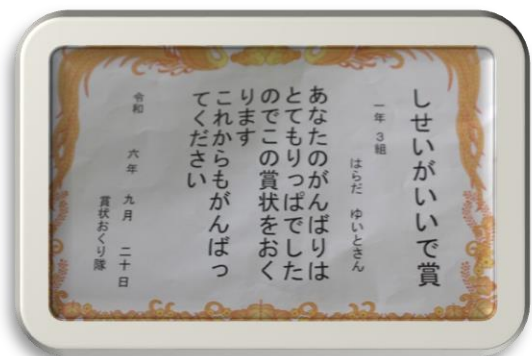
私は、この出来事を通して、この力は、子どもが内なる世界に『もともと持っている人間力』だと感じました。子どもは、私たち教師や保護者が思っている以上に、**素敵な人間力を兼ね備えているということです。**と同時に、私たち大人は、子どもを甘く見てはいけないことを示唆していると思いませんか。このことに感動した私は、その子に賞状を渡しました。その子が嬉しそうに受け取る姿をイメージしながら、こころを込めて作り、手渡ししました。

さて、お話はここで終わりません。お話の第2章は、『**つなぐ**』でした。賞状を受取ったその子は、もっと頑張っている子がいるから、自分で賞状を作って渡してあげたいと担任の先生に申し出たそうです。ICT機器を活用し、実際に渡した手作りの賞状がこちらです。自分がされて嬉しかったことを自分だけの喜びとせず、周りの人たちにも味わってもらいたいという願いが、この行動になって表れたのです。こころがほくほくしますよね。

お話の終わりに、**担任の先生への感謝**を伝えたいと思います。この素敵なお話は、まずもって、担任の先生の情報提供がなければ知らずに終わってしまった可能性があります。

また、点と点を線で結び、その後の子どもたちの様子をきちんと伝えてくれたことによって浮き彫りになりました。

担任の先生方は、日々、忙しい毎日を過ごしていますが、こうしたころ温まるお話が教師としての『**働きがい**』につながることを信じ、また、子どもの力を信じて一日一日を大切にしていきたいです。



大同フェニックスによる出前授業（５年生）



本物体験 選挙出前授業（６年生）



町探検に行ってきたよ！（２年生）

